

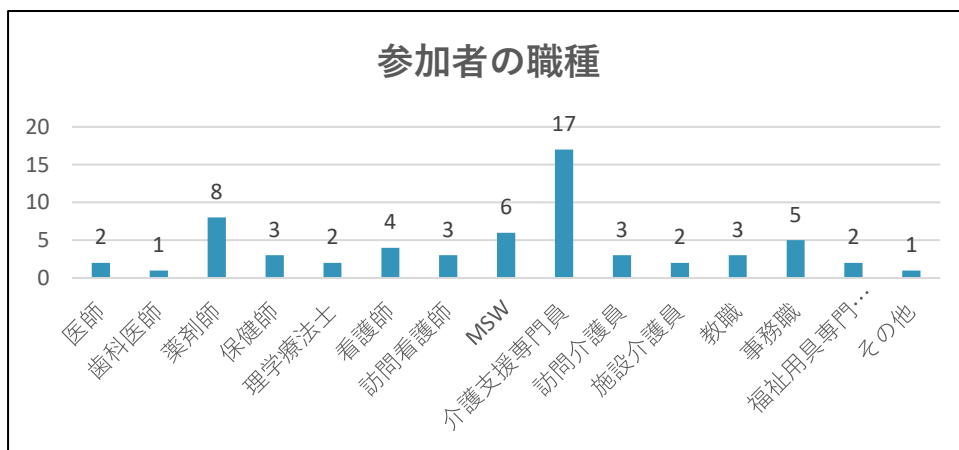
令和3年度第1回多職種連携会議 アンケート集計結果

1 会場別参加者数

くろかみ会場	22	(人)
社協会場	17	
ZOOM 参加	23	
合 計	62	

※講師、運営スタッフを含む

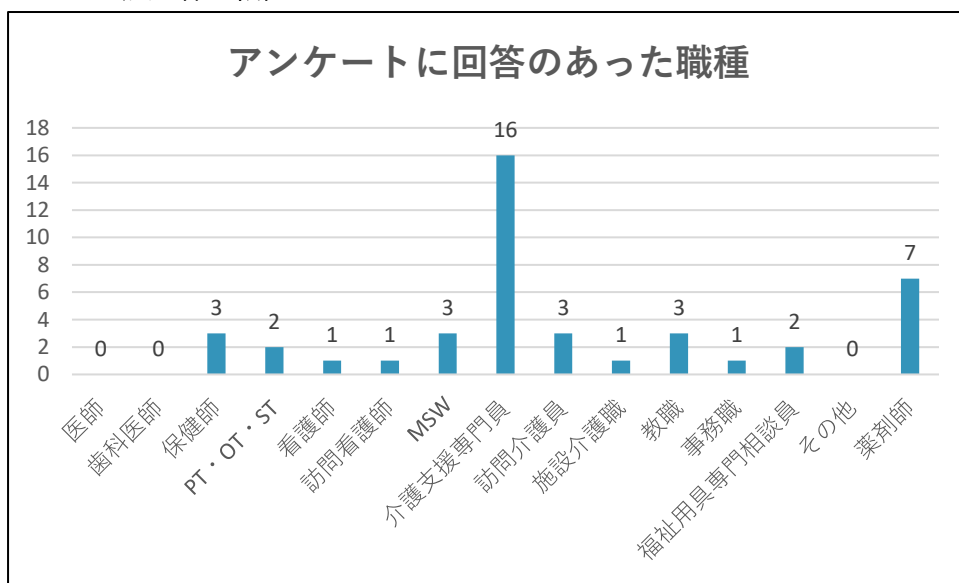
2 参加者の職種



3 アンケート記入者の参加した会場

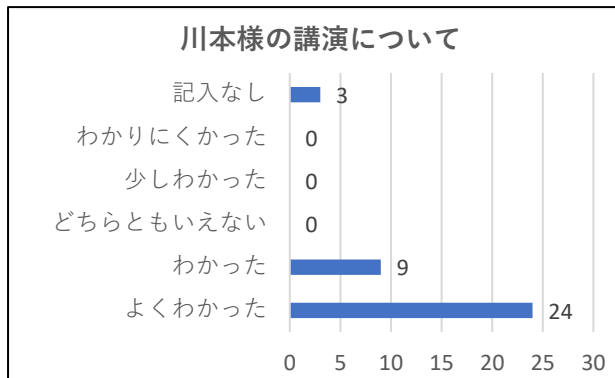
くろかみ会場	13
社協会場	16
ZOOM 参加	7
合 計	36

4 アンケート記入者の職種



《薬剤師以外の参加者分》

5 川本様の講演について



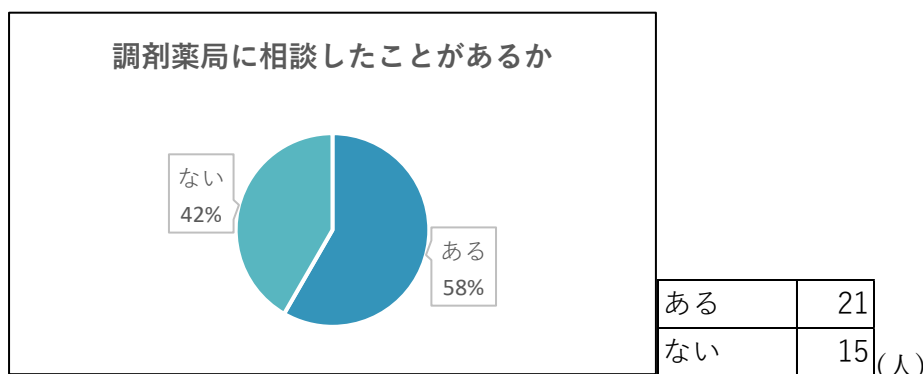
6 3人の講師の方からの「薬剤師と他(多)職種との連携の話」を聴いて感じたこと、考えたことなど

- ・自分は薬剤師さんにいろいろな相談ができたり、残薬整理もしてくれる等の情報を持っているが、患者さんたちは知らないことが多いと思う。利用者や家族に情報提供をしていきたい。(介護支援専門員)
- ・思っていた以上に、医師と連携して調節をしてくれることがわかり、これからは積極的に相談してみようと思った。(介護支援専門員)
- ・もっと色々相談したいと思った。(介護支援専門員)
- ・ケアマネさんも大変だなと思った。(看護師)
- ・薬についてはみんなそれぞれに悩みがあることがわかった。薬剤師さんに相談することで、色々な方法を考えてくださり、とても頼りになると感じている。今後も相談にのってほしい。(訪問看護師)
- ・他の職種と比べ薬剤師さんとの連携の場面が少なく、本日の話で、知らなかった薬剤師さんの業務を多く知ることができて良かった。(保健師)
- ・在宅できちんと服薬する為には薬剤師に介入して頂き、確実に飲めることが大切であると思った。薬の疑問は薬剤師さんに相談していこうと思う。(介護支援専門員)
- ・様々な職種の方との連携の必要性を感じた。もっと薬剤師の方に色々相談してもいいなと思った。(事務)
- ・薬のことは総合的にかかりつけ薬局へ一度相談してみると良いことが分かった。対象者の在宅生活を支援する者としては心強い存在だと思う。(保健師)
- ・薬剤師さんのサービス(仕事)が分かり、相談しやすくなったと思う。(訪問介護員)
- ・これからも退院前カンファレンス等に薬剤師も積極的に出席して頂きたいと思った。(MSW)
- ・事例紹介があり、連携により、より良い支援になっており、よくわかった。(保健師)
- ・今まで私自身に、薬局で相談できるという概念がなかったので、川本さんの話をきいて、患者側としてもっと気軽に相談ができることを知り、参考になった。(PT・OT・ST)
- ・薬剤師と他職種が連携することで、在宅療養者への支援が変わってくることを。(教職)
- ・地域で生活していくにあたり、必要な職種との連携を深めていきたいと思った。(MSW)
- ・内服管理は高齢者の方の対応をすると1番に出てくる課題なので、お薬整理など薬局へ相談していいことを学んだ。(MSW)
- ・薬剤師の役割として地域活動もあることを初めて知った。医師に直接聞けないことを気軽に聞けるので、薬剤師に相談しようと思う。(介護支援専門員)
- ・薬剤師に相談することが身近に感じた。(介護支援専門員)
- ・同じ薬局での一元管理、必要な方がたくさんいると思った。残薬について、医師にたくさんの残薬があることを伝え、お薬カレンダー、一包化等しても飲んでいない場合もあり、良い方法がないかと思っている。

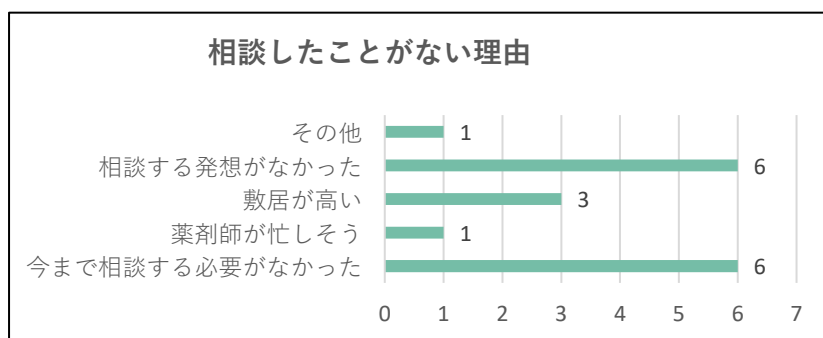
薬剤師の方にもっと積極的に関わりを持つようにしようと思った。残薬を病院に持って行ったことがあるが、薬局に持っていけばよかった。認知症の方の服薬、難しいです。(介護支援専門員)

- ・薬局の機能、活動内容等よくわかり理解を深めることができた。薬の管理については医師への相談が難しいと思うことが多いため、相談させてもらいたいと思った。講演を聴くことができ、今後の相談がしやすくなった。(介護支援専門員)
- ・薬剤師の方に相談できることはとても心強いことだと感じた。業務の際、お世話になりたいと思う。(訪問介護員)
- ・いろいろな専門職が関わり連携することで、問題を共有したり、一人でいきづまらず、良い方向性を見いだせることが少しでも多くなれたらと感じ、連携していこうと思った。(介護支援専門員)
- ・地域包括ケアを活用し、それぞれの職種立場から、利用者の方の生活に合わせた丁寧な関わりをされていることが分かった。内服状況の確認は、とても大切な情報なので、このような取り組みを具体的に知ることができてよかった。(教職)
- ・担当している方で市販薬や健康食品など飲んでいる人が「病院の先生には言えない」という人がいる。薬局で相談できることを教えたい。(介護支援専門員)
- ・今までにない連携方法があり良かった。(福祉用具専門相談員)
- ・服薬管理を行う上で、薬剤師だけでなく多職種が連携することが重要であると感じた。(福祉用具専門相談員)
- ・糖尿病の内服、インスリン療法の管理は高齢者にとって認知機能や身体機能の低下などにより支障をきたすことが多く、困難事例があるのではないかと興味を持ち、今後知りたいと思った。(教職)
- ・今まで薬のことで困ったことがあっても、自分の勝手な考えやあきらめで相談できるとは考えていなかった。これからは相談したいと思う。(施設介護職)
- ・主治医に相談する前に薬剤師への相談で状況が改善できることがわかった。(介護支援専門員)

7 今まで調剤薬局に相談をしたことがあるか

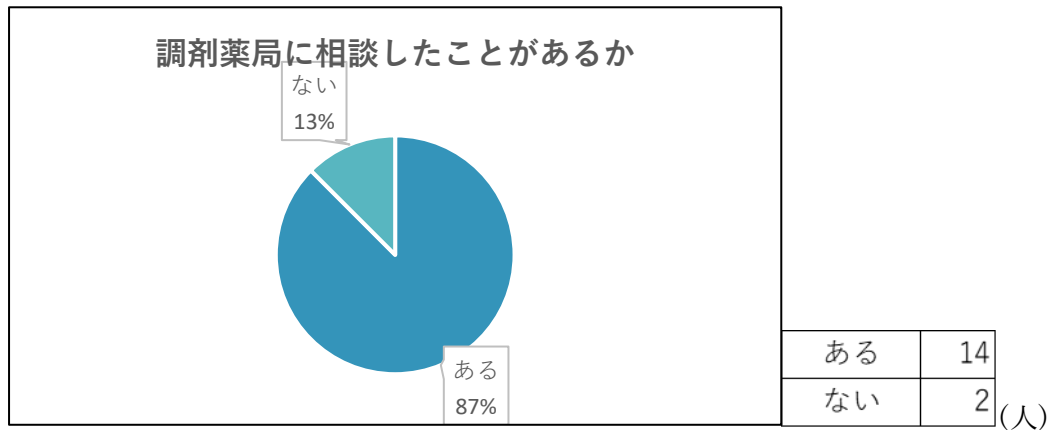


◆ 7で、「ない」と答えた理由



・「その他」：院内のスタッフから、個人情報の観点で反対されたため

【 介護支援専門員のみデータ 】



◆ 「ない」と答えた理由

- ・「薬局の敷居が高く、相談しにくかったため」
- ・「薬剤師に相談するという発想がなかったため」

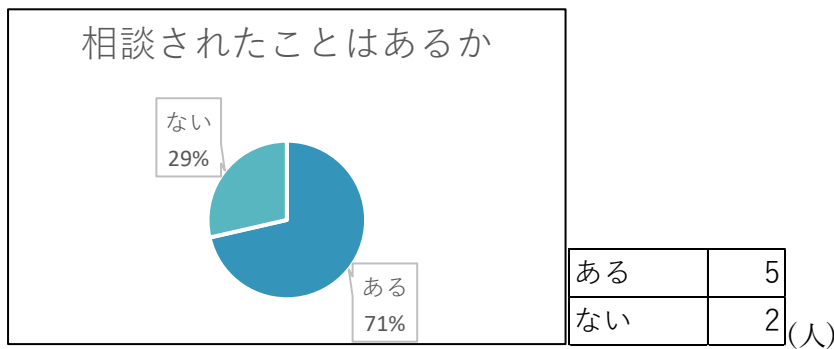
8 薬剤師さんへの希望など

- ・以前薬局に自宅への訪問について相談した時、訪問診療や往診をしていない人への訪問はできないと聞きました。今日の話では、訪問していただけるように感じた。認知症で薬の管理が難しい方、ヘルパーやお薬カレンダーだけでは難しい方への訪問の相談をしたい。(介護支援専門員)
- ・iチャンネル等で新見版医療連携について放送していただけるとありがたい。(教職)
- ・糖尿病の服薬管理について、多職種と連携すると一人でも多く患者さんの血糖コントロールが在宅でも継続できると思う。課題を見つけるためにも新見市内の薬局同士の意見をお聞きしたいと思っている。(教職)
- ・機会があればもっと薬剤師さんに相談しようと思う。(PT・OT・ST)
- ・担当者会議への参加、入院・外来患者の情報共有(MSW)
- ・各薬局でどこまで対応できるのか情報が欲しい。ここはできるけど、ここではできないがあると、相談しにくいので。(MSW)
- ・薬剤師さんに「こんな相談ができるよ」「あんな相談もできるよ」ということがわかるチラシを薬局に掲示したら、患者さんによくわかると思う。(介護支援専門員)
- ・薬剤師さんの方からも、何か気になることがあれば連絡やメールなど活用できたら良いと思う。(介護支援専門員)
- ・今してくださっていることを続けていただければいいと思う。(介護支援専門員)

=====

《薬剤師の方のみ》

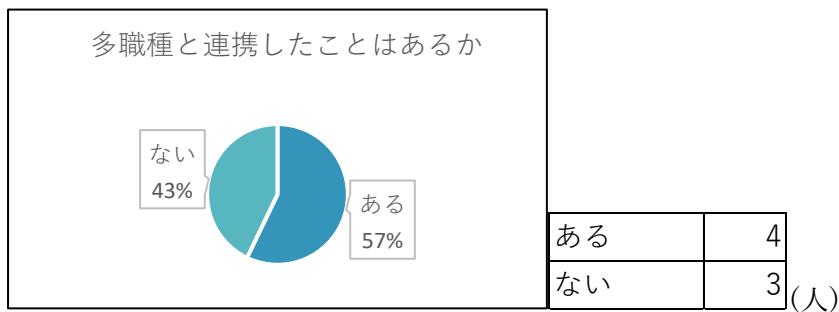
9 多職種に相談されたことはあるか



◆「ある」と答えた理由

- ・ 訪問看護の方より、薬の管理ができない方に薬の配達をしてほしいと頼まれた。
- ・ 残薬調節、一包化、お薬カレンダー、お薬手帳など
- ・ 薬がうまく飲んでいない。薬が大量に残っている。
- ・ 患者の残薬、体調変化等の確認

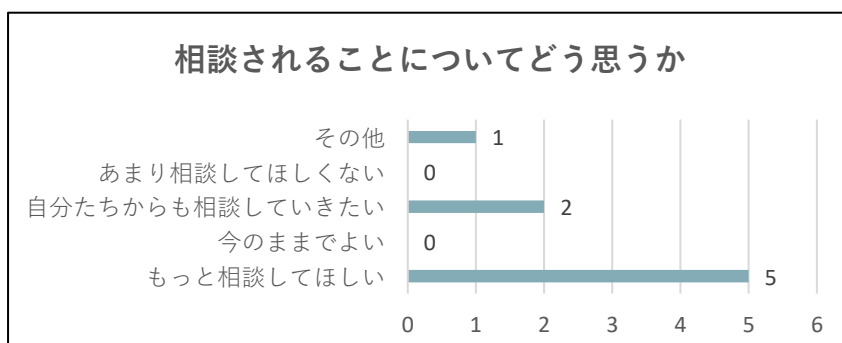
10 多職種と連携して支援したことはあるか



◆「ある」と答えた理由

- ・ 錠剤→粉砕
- ・ 用法分3→分1にする
- ・ 服用カレンダー導入、薬の内容(飲み方)の変更
- ・ 在宅介護、居宅療養管理指導など
- ・ 訪問看護の方より頼まれた薬の管理を、おくすりカレンダーを使用して一週間毎渡すようにしたが、看護師さんの訪問の際、薬が亡くなっていることが多く、結局訪問看護の方に薬を預かってもらい、飲ませてもらったことになった。

11 他職種から相談されることについてどう考えるか



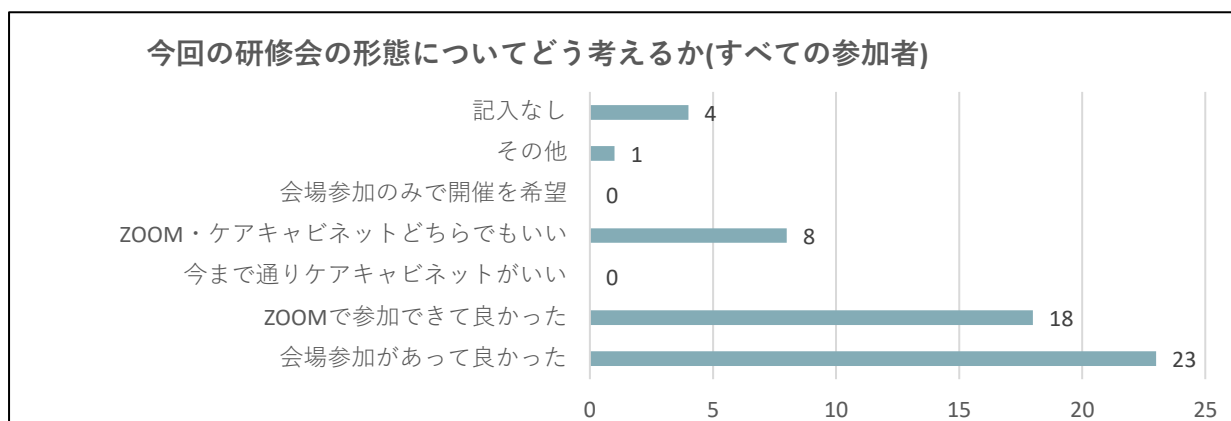
- ◆「その他」：相談内容によっては希望に添えないものがあるかもしれないので、もっと相談してほしいというのは気が引けますが、できる限り連携して力になればと思います。

12 今後薬剤師の方から多職種の方に「こうしてほしい」などの希望

- ・もっと対面で連携したい
- ・薬のことなら遠慮なく相談してほしい。ファックスなどでアポイントをとると、お互い遠慮がないのではないか。

《すべての参加者への質問》

13 今回の「研修会の形態」についてどのように考えましたか



①「会場参加があって良かった」を選んだ人の理由

- ・機材やマイク、カメラがつながるか心配なのでありがたい。
- ・自分で機器の操作や設定に自信がないので
- ・ネット環境がないため

②「ZOOMで参加できてよかった」を選んだ人の理由

- ・コロナのため会場だけでなく、ハイブリッド形式で行うことで参加の選択が増えて良い。
- ・会場に行かなくても参加できるため。
- ・画質や音声がクリアで見やすかった。スライドの共有も画面がかくかくしないので気安く感じた。
- ・この時期、多人数と接することなく講聴できたのは良かった。
- ・参加しやすい。
- ・ケアキャビネットより ZOOM の方が、音声や映像が安定しているような気がする。
- ・ZOOM 参加であれば、業務時間終了後でも参加がスムーズにできる。また、会場と自宅とが離れているので、場所の制約がないほうが参加できる機会を多くとることが出来る。
- ・職場から会場まで 30 分程かかるため、会場参加は間に合わないことが多く、参加を諦めることが多い。オンラインさんであれば職場の PC からでも、スマホからでも視聴できるのでありがたい。
- ・営業時間が午後 7 時まで。ZOOM でないと参加できなかった。

④「ZOOMでもケアキャビネットでもよい」を選んだ人の理由

- ・コロナ禍のため研修会の機会が減ることがさみしい。いろいろな方法を取り入れることで多数の人が参加できることが素晴らしいと思う。

- ・繁忙時でも参加しやすい。

⑥「その他」を選んだ人の理由

- ・会場参加だと勤務が終わって間に合わないことが多かったので、ZOOMで参加できると助かる。

①と②「会場参加があつて良かった」「ZOOMで参加できてよかった」を選んだ人の理由

- ・会場が分散できて良かった。
- ・大学でもケアキャビネットが使用できるとありがたいです。
- ・きれいな画面で研修ができてよかった。
- ・ZOOMは比較的つながりやすい。画面がはっきりしている。

①と④「会場参加があつて良かった」「ZOOMでもケアキャビネットでもよい」を選んだ人の理由

- ・参加しやすい。会場とWebが選べて良かった。貴重な講話をいただき、ありがとうございました。
- ・今後もコロナが続くと思うので、会場がいい人もいれば、オンラインがいい人もいると思うので、今回のようにどちらの設定もあり、良かったと思う。準備する方は大変でしょうが…
- ・グループワークは難しいけど、色んな人が参加できるツールがあるのは良い。ストレッチ、良かったです！

②と④「ZOOMで参加できてよかった」「ZOOMでもケアキャビネットでもよい」を選んだ人の理由

- ・コロナ禍になって様々なことがリモートになった。リモートにも慣れ自分の環境で気軽に参加できるので、通常なら都合で参加できない研修等に参加しやすくなったから。

14 コロナ禍の研修会でのグループワークについての意見・提案

- ・広い会場で少ない人数で行う。リモートでは、グループワークは困難と思う。
- ・新見でコロナが落ち着いている時であれば、アクリル板と検温とフェースシールドをして行えばよいと思う。
- ・少人数で何グループか作り、会話ができるといいと思う。
- ・グループでは難しくても、クリアのつい立を挟んで、2人ならできるのでは。
- ・ZOOMの有料会員になれば時間設定込みでグループワークができるので、活用してもらえれば。
- ・ZOOMを活用してのグループワーク
- ・グループワーク等、双方向のやり取りがしにくいのがリモートの欠点だと思う。良いアイデアを教えてください。
- ・ZOOMでもグループワークできます。
- ・ZOOMであればグループワークが可能と思われる
- ・ZOOMで少人数に振り分ける機能がある？
- ・直接不特定多数の人が集まって話をするのは時期尚早。ZOOMをうまく利用できればよいが、普段使わないのでよくわからない。